

第5章

計画の全体像と評価計画

1 計画の全体像

これまで述べてきた政策目標、行動目標、条件目標、事業目標の各関係を示す計画の全体像を、63頁の「アクティブ宝塚」全体概要に示しました。図中の矢印は、各施策が特にどのような条件改善(住民のサポートニーズ)に作用し、宝塚市民のスポーツ実施ニーズを実現していくかという予想シナリオを表しています。76の個別事業から構成されている計24のスポーツ振興施策を掲げ、これらを今後10年間積極的に推進していきます。

2 評価計画(縦断的評価)

計画実施後に、中間評価と最終評価を実施します。いずれも、予め設定したシナリオがうまく機能したかどうかを、事業目標(マネジメント評価)、条件目標(プロセス評価)、行動目標(インパクト評価)、政策目標(アウトカム評価)の達成度の観点から政策評価を行っていきます。これまでの政策評価では、事業の影響度や成果を実証することが困難でしたが、「アクティブ宝塚」では、計画策定時に実施した市民意識調査の対象者に対して、再調査への協力を依頼し、実施された事業の評価とともに、自己のスポーツ活動に関するニーズが満たされたかを評価するモニタリング調査を計画しています。このモニタリング調査を想定し、計画策定時の市民意識調査では質問項目を設定しており、これらの質問項目の分析により、効果の度合いとその理由を確かめることが可能となり、計画の修正や次回の計画策定に還元していくことができます。

3 評価計画(横断的評価)

中間評価と最終評価においては上記の縦断的評価だけでなく、新たな成人層も含めた宝塚市民を対象にスポーツ意識調査を広く実施し、国や県の行動目標であるスポーツ実施頻度レベルとともに、各種目の普及率や地域別参加率を把握しながら、より良い事業実施に向けて取り組んでいきます。

4 種目別スポーツ実施率の将来像

「アクティブ宝塚」の主要目標である種目別のスポーツ実施潜在人口のスポーツ参加が実現された場合、宝塚の種目別スポーツ実施率のイメージは以下のように表すことができ、各種目の到達レベルが評価内容としては最も重要視される指標となります。各個人が最も行いたいスポーツに参加し、各個人のスポーツライフが活性化するよう、この将来図の実現に取り組んでいきます。

図5-1 行動目標が達成された場合の宝塚市民の種目別スポーツ実施率

